



魅力ある 大学生にも インタビュー

明治キャンパス 特別編

台本にない自分の言葉で 学校の魅力を伝えていきたい

はぎ もと しゅん ゃ
萩本 舜也 さん

「来場者が安心して、何でも聞けるような雰囲気づくりを意識しています。特に、学内を案内する道中は、自らの言葉で来場者に声をかけて信頼関係を築けるように努力しています」

萩本さんはオープンキャンパスの学生スタッフとして、来場者に大学の魅力を伝える役割を担っています。そんな萩本さんに活動を始めたきっかけを聞きました。

「高校生の時、学校に何か貢献をしたいという思いから、オープンスクールのスタッフとして活動することを希望していましたが、その願いはかないませんでした。大学進学後もその思いは強く、オープンキャンパスの学生スタッフを募集する案内を見て迷わず応募しました」

1年生の頃から活動を始め今では70人を超える学生スタッフの中心的なメンバーとして活躍する萩本さん。来場者を案内する際に意識をしていることがあるそうです。

「来場者が安心して、何でも聞けるような雰囲気づくりを意識しています。特に、学内を案内する道中は、自らの言葉で来場者に声をかけて信頼関係を築けるように努力しています」

今では、大学の魅力や特徴を積極的に来場者に伝えていいる萩本さんですが、活動を始めた当初は難しいことも多かっ

として活動することを希望していましたが、その願いはかないませんでした。大学進学後もその思いは強く、オープニングキャンパスの学生スタッフを募集する案内を見て迷わずに応募しました」

萩本さんはオープンキャンパスの学生スタッフとして、来場者に大学の魅力を伝える役割を担っています。そんな萩本さんに活動を始めたきっかけを聞きました。

A black and white portrait of a young man with short dark hair, looking directly at the camera with a neutral expression. He is wearing a light-colored t-shirt with the letters "CAISD" printed across the chest in a bold, stylized font.

プロフィル

はぎもと・しゅんや
小学生の頃に通った学童保育で、自分より小さな子とよく遊んだことをきっかけに保育士を目指す。休日は、録画したドラマを見たり、友達とカラオケに行ったりして過ごしている。最近は父親との銭湯巡りも楽しみの一つ。

「初めの頃は、緊張して自分から声をかけられませんでした。そんな状況を変えるため、先輩スタッフたちの接し方を観察し、さまざまな応対方法を学びました。そして、経験を積むことで自信がつき、臨機応変に対応できるようになりました」

活動を通して、コミュニケーション能力や柔軟性を養うことができたという萩本さんに将来の夢を聞きました。

「子どもたちの成長に関わることができる保育士を目指しています。この活動で養ったことを生かし、子どもや保護者、同僚など誰からも信頼される保育士になりたいです」